



1・6・7・10_20種類以上約3千本の桜が咲く菊池公園 2_中国宮廷建築様式の建物が採用されている孔子公園は桜でさらに華やかに 3_正観寺ではチューリップとともに桜が満開を迎えていた 4_赤いカーペットと桜のコントラストが人気を集める菊池神社の参道 5_市道伊萩平線沿いに咲く桜並木と鞍岳が共演 8_コスモブリッジをバックに咲き誇る桜 9_春が訪れていた築地井手

市 内各地で一面に咲き誇る桜。新型コロナウイルス対策としてのマスクの着用が緩和されてから初めての花見シーズン。薄紅色の花びらが風に吹かれて舞い、幻想的な景色をマスク無しで眺める人たちは、昨年より晴れ晴れとした表情に見えました。
真っ赤なカーペットが敷かれた菊池神社の参道では、うれしそうに走り回る子どもや、花びらを見つめるカップルなど、そこにはたくさんの笑顔がありました。
「今年もきれいだね」「来年もまた見に来たいね」。菊池の春の風物詩は、今年も多くの人の心をつかんでいました。

市公式インスタグラム
[kikuchicity]



桜花 烂漫

フォトレポート



3月11日
堀切区

美しい景色を
次の世代に残したい

むら かみ かず お
村上和雄 区長

「菊池さくら千年プロジェクト」の一環で、堀切区のグラウンドに桜を10本植樹しました。

昨年、プロジェクトのことを知って、ぜひ植樹したいと希望を出しました。区民の憩いの場所に植えることができうれしいです。数年経てば、たくさんの花を咲かせてくれると思います。地域のみみなで花見をするのが楽しみです。それまで、私たちがしっかりと維持管理をしていきたいです。

植えた場所は鞠智城の近くのので、桜の時期には堀切区にも寄ってほしいです。地元の名所にして、美しい景色を次の世代に残していきたいですね。



3月23日
(株)山清工業九州

桜のように
大きく成長したい

やま だく に ひろ
山田邦博 代表取締役社長

市内2カ所に工場を立地して、主に自動車部品と半導体製造装置の生産を行っています。一昨年に創立30周年を迎えた事を記念して、鴨川河畔公園に桜の苗木を寄贈しました。

弊社は7人で創業して、菊池の皆さんに支えられて大きく成長できたと思っています。その感謝の気持ちと「菊池さくら千年プロジェクト」に賛同して、寄贈させていただきました。

植樹した桜と同じように、今後も地元で根を張って成長し続けていきたいです。次の30年後も美しい桜の風景が残っていることを願っています。



「日本一の桜の里」を目指して

菊池の春の風物詩である桜。美しい景色を次世代に残すために、官民一体で取り組みが進んでいます。

【問い合わせ先】土木課 ☎0968(25)7241

市民の、市民による、市民のための桜の里づくり

企業や団体でも広がる活動

平成26年3月から始まった「菊池さくら千年プロジェクト」。「市民の、市民による、市民のための日本一の桜の里づくり」を理念に官民一体となって活動を進めています。主な活動内容は、自治公民館や道路沿いなどへの桜の植樹と管理。市が地元の要望を受け、苗木を提供。維持管理は交付団体が行います。今年3月には堀切区にソメイヨシノを植樹。プロジェクトが始まって10年で、植樹した桜の本数は延べ千本を超えました。

民間でも取り組みは広がっています。(株)山清工業九州(七城町蘇崎)は今年、鴨川河畔公園に桜の苗木を寄贈。西部電機工業(福岡市)は市と平成22年から協定を結び、森づくりを進めています。NPO法人菊池公園歴史の森や龍門ダム千年の森を育てる会も毎年、桜の植樹活動を実施。成果が認められ、(公財)日本さくらの会から令和3年度「さくら功労者」に選ばれています。これまでに官民合わせて行われた植樹の本数は約1万本。桜の里づくりは着実に進んでいます。

美しい桜の景色を次の世代へ

「さくら基金を活用し、桜の成長を見守ってほしい」と話すのは菊池観光協会の合志和洋会長。寄付金をもとに植樹が行われる他、木にネームプレートを取り付け、桜のオーナーになることができます。命名権付き寄付金で、植樹された桜の本数はこれまでに154本。「オーナーの皆さんはシーズンになると自分の桜を見に来られますよ」と続けます。

さくら基金は市民主体での実施が基本理念。植樹後の維持管理や清掃などもボランティア会員の「さくらサポーター」が行います。個人・団体合わせて、累計735件の会員が桜の里づくりの一翼を担っています。

今、私たちが楽しんでいる桜並木は、先人たちが顔も知らない後世のために残してくれたもの。この風景を次の世代につなぐために、一歩ずつ取り組んでいきましょう。

菊池さくら基金 & さくらサポーター

市内各地の桜の名所を市民の憩いの場や観光資源と位置付け、保護・育成していくことを目的に平成24年に設立されました。市内の各種団体で構成する菊池さくら基金運営委員会が寄付金やボランティア会員「さくらサポーター」を募り、桜の購入や植樹、関連イベントなどを実施しています。

☎菊池さくら基金事務局(菊池観光協会内) ☎0968(25)0513

寄付金の種類

- ① 一般寄付金
- ② 命名権付き寄付金(名札付き植樹) 1口 3万3千円

さくらサポーター

清掃や植樹などのボランティア活動や関連イベントに参加・協力できる人
▶ 個人会員 千円 ▶ 法人会員 1万円

菊池さくら千年プロジェクト



桜を郷土の遺産とし、市民の郷土愛を醸成するとともに菊池ファンを増加させ、観光や経済の活性化を目的に桜の苗木を交付します。

☎土木課 ☎0968(25)7241

- 対象者** 行政区や桜植樹活動を行う民間団体
- 対象場所** 市内の一般に公開された場所(道路沿い、区所有土地、自治公民館、公園など)で、所有者の同意が得られている場所
- 条件** 交付を受けた区や団体が責任をもって維持管理を行ってください
- 交付上限** 区へは10本、民間へは植樹本数の2分の1以内で20本を上限として交付